

官民連携によるまちづくり事業について

1. 事業の概要

蔵の街大通りを中心とする中心市街地については、国の地方再生コンパクトシティの選定を受け、地方都市リノベーション事業を主に、各種ハード及びソフト事業を展開し、複合的都市拠点として都市機能の集約と歴史的資源を活かしたまちづくりに取り組んでいるところです。

まちなかの賑わい創出や都市の魅力向上を図るためには、官民のまちづくりに関する様々な主体が連携し、行政のまちづくりの方向性と取組、及び民間のまちづくりの方向性と主体的な取組、アイデアをもとに、一体的に取り組む官民連携によるまちづくりの推進が重要となってきます。

このことから、本市の中心市街地エリアにおいて、官民の幅広い関係者が参画してエリアの将来像やまちづくりの方向性を議論・共有する組織、官民連携の「エリアプラットフォーム」を構築し、このエリアプラットフォームでの議論を踏まえた、エリアの将来像等を示す「未来ビジョン」を策定して、官民連携による持続可能なまちづくりを推進していきます。

なお、この取り組みは、国が今年度創設した「官民連携まちなか再生推進事業」※を活用して実施します。(令和2年7月30日に国費内定済：補助率10/10)

※ 国の補助制度（国土交通省資料抜粋）



2. 対象とするエリア

栃木市中心市街地区域

※ 地方再生コンパクトシティ地区と同様

3. エリアプラットフォーム構築について

(1) 組織名称

(仮称)蔵の街とちぎエリアプラットフォーム

(2) 設立時期

令和2年9月中に設立予定

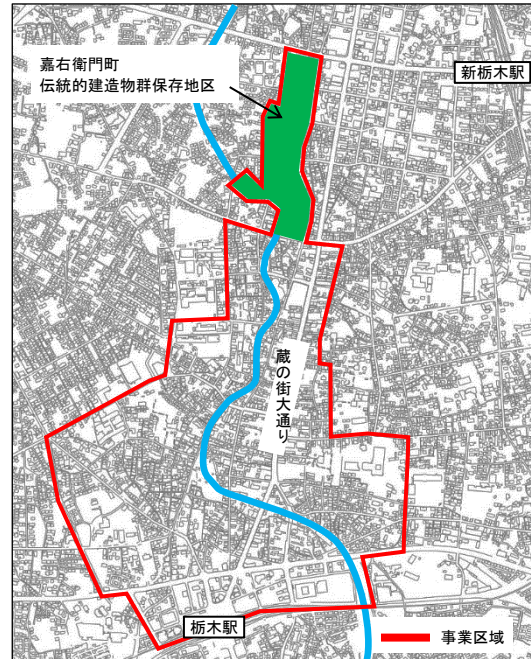
(3) 活動目的・内容

- ・ 未来ビジョンの策定
- ・ ビジョンに基づくプロジェクト実施調整

(4) 構成者

- ・ 行政：栃木市、UR都市機構
- ・ 民間等：栃木商工会議所、栃木市商店会連合会、嘉右衛門町伝建地区まちづくり協議会、その他まちづくり活動に関心のある会社・団体等を予定
- ・ 専門人材：学識経験者

[エリア図]



4. 未来ビジョン策定について

(1) 策定目的

市民の財産である蔵の街を維持・発展していくため、旧味噌工場跡地や旧栃木警察署跡地の活用を核に面的なまちづくり事業を提案・実践し、商業・観光振興による地域経済の活性化、空き家・空き蔵の活用促進等を図り、エリアの魅力・活力・賑わいの向上を目指します。

(2) 策定主体

(仮称)蔵の街とちぎエリアプラットフォーム

(3) 策定期間

令和2年10月～令和3年3月

(4) 記載事項

- ・ 地域の特徴の現状分析
- ・ 地域の特徴を踏まえた目指す将来像
- ・ 目指す将来像に向けた施策と役割分担
- ・ 目指す姿に向けたロードマップ

記載のイメージ

○ビジュアルで示すエリアの将来像



○将来像を実現する方針・施策や主体

将来像	方針	施策	実施主体
目指す姿	①：○○	①-1：○○	都再法人
	②：○○	②-1：○○	○○市 ○○会社

○ロードマップ

■短期 (RO～RO年度)	■中期 (RO～RO年度)	■長期 (RO～RO年度)
・ 具体的取組内容 ・ 定量的目標 (ビジョンに基づく 施策の実施)	・ 具体的取組内容 ・ 定量的目標 (エリア内の民間 投資 ○件等)	・ 具体的取組内容 ・ 定量的目標 (エリア内の地価の 改善 年度比○%)

5. その他

エリアプラットフォームでは、まちづくりの担い手となる“まちづくり会社”の設立に向けて、組織の体制等についても検討を進めます。

【問合せ】 都市整備部 市街地整備課
担当：佐藤 Tel.0282-21-2309